

## 「JASS 大学」を開設します

一般社団法人日本セカンドライフ協会会長 蟹沢俊行

JASS は一昨年の令和 2 年 4 月に設立 30 周年を迎えました。そして、それは、わが国において超高齢社会（「人生 100 年時代」）の到来という大きな社会情勢のうねりの中で迎えることとなりました。

JASS が今後 30 年を見通して、さらに発展していくためには、今やこの「人生 100 年時代」に的確に対応しうる活動の展開が強く求められるとともに、この活動を中核にして体系化することを通じて、事業全体を再構築することが必要となっております。

超高齢社会（「人生 100 年時代」）の到来は、私たち高齢者の定年退職後の「第二の人生」のあり方に大きなインパクトを与えております。すなわち「人生 100 年時代」により「定年退職後の第二の人生」を過ごす期間が、「社会人としての第一の人生」とほぼ同じ期間（約 40 年）に延長されることとなります。

私たちは、社会人となる前に約 20 年にわたって主として学校という機関で社会人になるための知識、技術、技能を学び、その後、社会人になって会社に貢献し、またそれにより報酬を得て「第一の人生」の生活を営んできました。

「人生 100 年時代における延長された第二の人生」においては、私たちは、これまで同様、個々人として健康で充実した、活力のある生活を送るとともに、積極的な社会参画が求められますが、それを長い生涯にわたって充実し、かつ高めていくためには、これら「生きがいの活動」とともに、これまで以上に「生きがいのための学び」を高めていく必要があります。

これまで JASS は多くの企業・団体を結集して、定年退職者のための生きがいづくりに向けた支援、社会参加促進のための活動を展開してまいりました。そして、超高齢社会（「人生 100 年時代」）の中で引き続きそのミッションを一層果たして行くとともに、総合的な生涯学習としての機能、すなわち、「学びの場」を充実する必要があります。そういう今日的課題と要請に向き合っていこうというのが、まさに「JASS 大学」開設の趣旨と意義です。

「JASS 大学」は当面、JASS の活動メニューの一部として位置付けていきます。そしてこれまでのイベント・サークルの中で「学び」の要素のあるものを集約し、それらを一層魅力ある企画にしていくとともに、新たなリカレント（学び直し）的な活動を加えて体系的なプログラム（講座の構成）として組み立てていきます。そして、さらに会員の皆様のニーズに応える中から「学びの楽しみ」が醸成されるようプログラムの充実に努めていくつもりです。

是非、多くの会員の皆様の参加をお願いします。